

原子力施設等防災対策等交付金 (女川オフサイトセンター整備事業)

平成30年度予算 東日本大震災復興特別会計



21.5億円(5.5億円)
(29・30年度国庫債務負担行為額 27.0億円)

事業の背景・内容

<事業の背景・内容>

宮城県における原子力災害対応の拠点である原子力災害対策等拠点施設(オフサイトセンター:OFC)として国が指定した女川オフサイトセンターは東日本大震災に伴う津波で壊滅的な被害を受け使用不能となりました。

そのため、平成29年度から平成30年度にかけて、現地対策本部の拠点となる女川オフサイトセンター(発電所からの距離:約7.2km)を再建し、原子力防災のための体制を再構築し、女川地域の復興を支援します。

現在は、女川原子力発電所から約5.3km離れた仙台市にある旧消防学校を暫定オフサイトセンターとして整備し、原子力災害に備えています。

<事業の内容・実施項目>

東日本大震災により被災したオフサイトセンターの建替えに要する費用を宮城県に交付します。

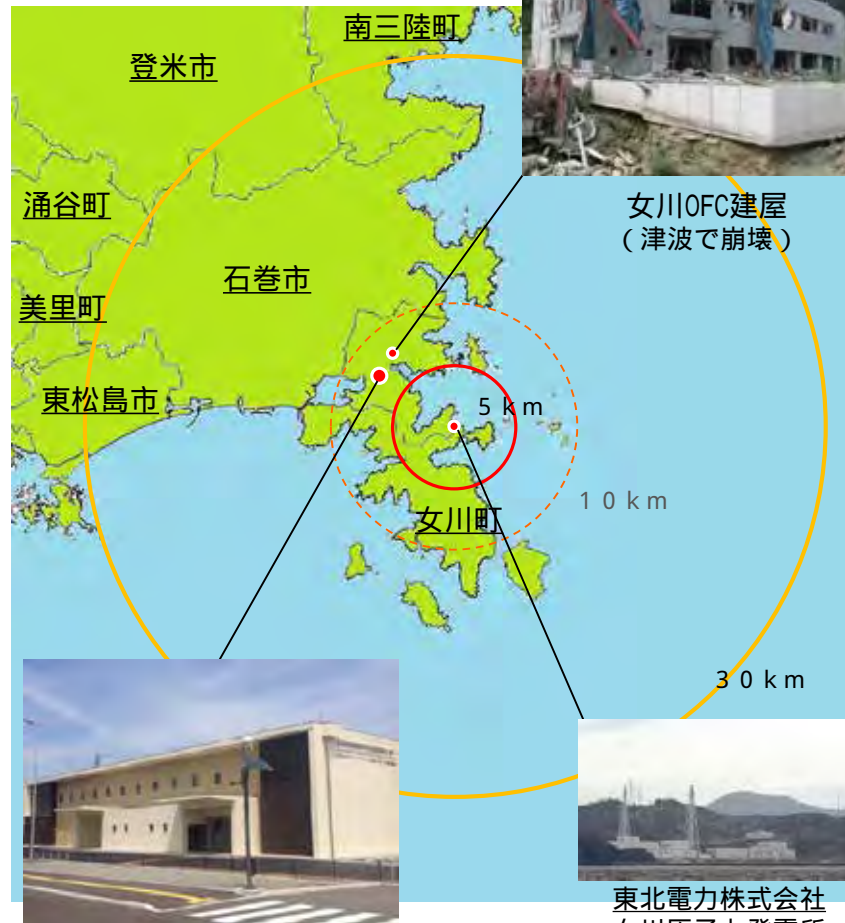
各年度で行う事業は以下のとおり。(事業総額27.0億円)

- ・平成29年度: 設計及び造成・建築工事 (5.5億円)
- ・平成30年度: 造成・建築工事 (21.5億円)

【参考】

- ・平成25年度: 福島県楢葉OFC建設、女川暫定OFC整備
- ・平成26年度: 福島県南相馬OFC建設

具体的な成果イメージ



新女川OFC建屋のイメージ
(福島県南相馬OFC)

東北電力株式会社
女川原子力発電所

事業のスキーム

国

定額を交付

立地道府県等